

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	保育学科	夜・通信	8		45	53	7	
	養護保健学科	夜・通信	7		40	47	7	
	歯科衛生学科	夜・通信	6		42	48	10	
	医療秘書学科	夜・通信	8		49	57	7	
	専攻科 口腔保健学専攻	夜・通信	0		32	32	4	
(備考) 全学共通科目においては学科により科目担当者が異なる場合があることから実務経験者のカウントにおいて差異あり。 ※専門科目においては教職免許に関する科目を含む(養護保健学科12単位)。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL： https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/tanjyugyokamokuichiran.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/pdf/r05yakuinmeibo.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	法律事務所 弁護士	2019. 4. 1 ~ 2024. 3. 31	経営機能強化に資する多様な提言
非常勤	国立大学 教授（前職）	2022. 4. 1 ~ 2027. 3. 31	経営機能強化に資する多様な提言
非常勤	社会保険労務士事務所 代表社員	2022. 7. 6 ~ 2027. 7. 5	経営機能強化に資する多様な提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成に関しては、例年、10月以降の教務委員会にて記載内容の検討を開始し、翌年1月各授業担当者に作成依頼を行い、2月上旬に各授業担当者から提出されている。</p> <p>具体的な内容は、①目的 ②概要 ③到達目標 ④授業計画 ⑤授業形態 ⑥教科書 ⑦参考書 ⑧評価方法 ⑨留意点 ⑩準備学習・関連学習で構成されている。記載内容を徹底するため、「シラバス作成・活用ガイド」を作成し担当教員あてに通知している。また、シラバス完成までに教務委員によるチェックを経て3月に公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/index.html 上記URL内「年間授業計画(シラバス)」参照</p> <p>公表方法：ユニバーサル・パスポート (学生ポータルサイト)にて公開 URL：https://unipa.fuksi-kagk-u.ac.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価を行うにあたっては、筆記試験、口述試験、実技試験、レポート、その他の提出物など多様な方法を用いており、学則、規程で定めている。</p> <p>また、シラバスにおいて、成績評価の方法と基準を示し、これらに基づき客観的に厳正かつ適正な学修成果を判定し評価を行っている。</p> <p>成績の評価、単位の授与については、学則に定め、授業科目を履修し、試験に合格した者には単位を与えている。</p> <p>また、「夢ノート」というツールを使い、学生の履修指導、成績管理、生活指導を行っている。加えて個々人の遅刻、欠席状況をチェックすることで、学修意欲の把握に努め、3回欠席した場合は、保護者との情報共有をはかり、きめ細かい指導を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAの算出方法等に関しては、試験内規において定めている。

具体的には、GP (Grade Point) を用いて、履修科目のGPA (Grade Point Average) を算出し、総合成績評価を行う。成績評価におけるGP (Grade Point) は以下のとおりである。

評価	点数	GP
秀	100-90	4
優	89-80	3
良	79-70	2
可	69-60	1
不可	59-0	0

$GPA = (\text{評価を受けた各授業科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和} / \text{評価を受けた授業科目の総単位数}$

なお、GPAは小数第二位まで表示する。小数第二位未満の端数があるときは、小数第三位の値を四捨五入する。

各人のGPAについては成績通知と同時に通知している。また、全科目GP平均値や分布状況、履修者規模別GP平均値などの分析結果を示し、成績評価の平準化について活用するようにしている。

また、GPAが1.0未満の者には指導を行い、改善が見られない場合には退学勧告等を行うことがある。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/seisekihyoukakijun.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、全学のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) を定め、各学科の教育目標を達成することにより、以下の能力を身につけることを目指している。

1. 自己成長を促し、自分の考えに基づき主体的に行動できる。
2. 自らが生きる上で必要な問題解決能力を持っている。
3. 自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を保有している。
4. 自らが目指す専門職の基本を理解し、その向上に意欲を示している。
5. 自らが目指す専門職の知識・技能を活かし、社会に貢献することができる。

これらをもとに、学科ごとにより具体的なディプロマ・ポリシー及び学習成果を定めている。

また、各学科のカリキュラム及び卒業に必要な最低単位数は、学則に定めている。各学科の教育課程が定める授業科目を履修し、基準となる単位を取得した者には、教授会での審議を経て、学長が認定し、学位を授与している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
URL：<https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html>
URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/sotugyouinteikijun.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/pdf/r04results/r04_04.pdf
収支計算書又は損益計算書	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/pdf/r04results/r04_01.pdf
財産目録	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/pdf/r04results/r04_06.pdf
事業報告書	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/pdf/r04report.pdf?202305
監事による監査報告(書)	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/pdf/r04results/r04_07.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:事業計画書 対象年度:令和5年度)
公表方法 : 学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/pdf/r05kekaku.pdf?20230412
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/
上記 URL 内「その他」「大学評価」参照

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/evaluation_R1.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育学科、養護保健学科、歯科衛生学科、医療秘書学科
教育研究上の目的（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>【関西女子短期大学の教育目的】 教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理観を養い、基本に則った専門知識と技能、並びにそれらに裏打ちされた主体性と問題解決能力を身につけ、社会に貢献する人間の育成をその教育目的としている。 URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/overview/sprit.html</p> <p>【各学科の教育目的】 （保育学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/childcare/outline.html （養護保健学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/health/outline.html （歯科衛生学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/dental/outline.html （医療秘書学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/medical/outline.html</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>【全学のディプロマ・ポリシー（抜粋）】 関西女子短期大学では、建学の精神「感恩」を基盤として、高い倫理観を持って人のために働きたいという情熱と基本に則った専門知識と技能、さらにはそれらに裏打ちされた主体的行動力と問題解決能力を持って、社会に貢献する人材の育成を行う。 教育目的に沿って各学科で設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を取得することが卒業の必須条件となり、卒業と同時に短期大学士の学位が与えられる。 さらに、各学科の教育目標に沿った能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、それぞれの学科で目標としている免許・資格を取得することができる。 URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html</p> <p>【各学科のディプロマ・ポリシー】 （保育学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/childcare_policy.html （養護保健学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/nursingcare_advancedpolicy.html （歯科衛生学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/dentalhygiene_policy.html （医療秘書学科） URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/medicalsecretary_policy.html</p>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）

（概要）

【全学のカリキュラム・ポリシー（抜粋）】

関西女子短期大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）で明記している人材の育成のために、以下の方針で教育課程（カリキュラム）を編成している。

1. 教育内容

- 1) 自己成長と主体的行動を促す上で必要な各分野の基礎知識と技能、並びに社会人としての一般教養を身につけるため、総合教養科目、外国語科目、健康教育科目、情報教育科目、福祉教育科目からなる、共通教育科目を設置する。
- 2) 問題解決能力を修得するために、研究や討論を実践的に積み上げるゼミ形式の基礎演習と研究演習を実施する。
- 3) コミュニケーション能力と主体的に行動する能力を培うために、「関女技能オリンピック」などの体験的・参加型の行事の場を提供する。
- 4) 各学科の専門的な知識と技能を体系的に学べるように、専門教育科目、教職課程科目を設置し、資格取得に必要な能力を育てる。
- 5) 社会に貢献できる専門職になるために、高い倫理性に裏付けられた専門的な知識と技能の基本を修得するための実習科目を設置し、丁寧で細やかな個別指導を実施する。

2. 教育方法

- 1) 各科目について、到達目標、授業計画、評価方法、準備学習、関連学習、ディプロマ・ポリシーとの関連を明確にし、周知する。
- 2) 学生が主体的に学習に取り組む教育方法を実施し、教育内容の定着を図る。
- 3) 学生は学期ごとに学修の目標設定と振り返りを行い、教員は学生の自己評価を参考に学習行動の改善を行う。
- 4) 学生が、必要とされる知識や技能を主体的に学ぶ力を身につけるため、多様な授業形態と教育方法を取り入れて、細やかな支援を実施する。

3. 教育評価

- 1) GPA 制度などにより、教育の質保証に向けて点検・評価・改善を行う。
- 2) 各科目のシラバスに定める評価方法に基づき、厳格な評価を行う。
- 3) 学生は「夢ノート」を利用して自己の学修を振り返り、教員は学生の自己評価に基づいて指導し、評価する。
- 4) ディプロマ・ポリシーの達成に向けて、学生の学習成果の全体を評価する。

URL : <https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html>

【各学科のカリキュラム・ポリシー】

（保育学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/childcare_policy.html

（養護保健学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/nursingcare_advancedpolicy.html

（歯科衛生学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/dentalhygiene_policy.html

（医療秘書学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/medicalsecretary_policy.html

入学者の受入れに関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）

（概要）

【全学のアドミッション・ポリシー（抜粋）】

1. 求める学生像

関西女子短期大学では、各学科の教育目的である専門職になることを自らが志し、学修を行うに十分な基礎学力を有し、高い倫理観及び人のために働きたいという情熱と感謝の気持ちを常に持って、積極的に社会に貢献しようとする人を求める。さらに、学科ごとの特色に応じて求める学生像を定めている。

2. 入学者に求めるもの

関西女子短期大学への入学を希望する人は、下記の能力・意欲が求められる。

- ①高等学校などの卒業時までには修得すべき知識・技能
- ②高等学校などの卒業時までには身につけておくべき思考力・判断力・表現力
- ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぼうとする意欲
- ④人と積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲
- ⑤各学科の教育目的である専門職に就くことを強く希望し、その気持ちを持続する意欲

URL： <https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html>

【各学科のアドミッション・ポリシー】

（保育学科）

URL： https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/childcare_policy.html

（養護保健学科）

URL： https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/nursingcare_advancedpolicy.html

（歯科衛生学科）

URL： https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/dentalhygiene_policy.html

（医療秘書学科）

URL： https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/medicalsecretary_policy.html

学部等名 専攻科 口腔保健学専攻
教育研究上の目的（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>短期大学等（本学 歯科衛生学科等）を卒業し歯科衛生士免許を取得した人を対象に、さらに先進的、学際融合的な歯科衛生学を教授し、研究を通じて、応用能力を備えた質の高い歯科保健医療の指導者を育成することを目的とする。</p> <p>URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/adv_ohs/index.html</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>口腔保健学専攻では以下のような能力を身につけ、所定の単位を修得した者に修了を認定する。さらに学位授与機構の審査に合格した者に学士（口腔保健学）が授与される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神を基に、医療人としての高い使命感と倫理観を有し、口腔保健学の高度な知識と技能を歯科臨床の場で実践できる 2. 社会的要求に応じることができる優れたコミュニケーション力を身につけ、特別な配慮を有する対象者にも対応できる 3. 歯科衛生士の指導者としての自覚を持ち次世代の歯科衛生士を教育・指導することができる 4. 科学的探究心を持ち、高度で多元的な研究活動を実践できる力を身につけ、口腔保健学の発展に貢献できる <p>URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/advancedpolicy.html</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>口腔保健学専攻では、ディプロマ・ポリシーで明記している能力を修得するために、以下の方針で教育課程（カリキュラム）を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 知識と技能を集積・統合するとともに汎用的能力を育成するため、「問題解決型学習」をはじめとするアクティブラーニングを積極的に取り入れる。 2) 口腔保健学を保育学的視点、学校教育学的視点、医療社会学的視点から掘り下げるために「学際融合科目」を配置する。 3) 科学的探究心と問題解決能力を養うため、「専攻特別研究」を開講する。 2. 教育方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) シラバスに到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、予習・復習、関連学習、ディプロマ・ポリシーとの関連について明記するとともに、最初の授業において各科目でオリエンテーションを行い周知する。 2) 学生が主体的に学習に取り組めるようアクティブラーニングを主軸としたさまざまな教育形態・方法を実施する。 3) 学生自らが学習時間を確保し、自主学習できるよう細やかな支援を実施する。 3. 教育評価 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各科目の評価はシラバスに定める方法に基づき厳格に行う。 2) ディプロマ・ポリシーの達成に向けて、学生の学習成果の全体を評価する。 <p>URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/advancedpolicy.html</p>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）

（概要）

口腔保健学専攻では以下のような資質を備えた人を求める。

- ① 歯科衛生士としての専門的知識と技術を修得し、コミュニケーション能力を有する人
- ② 医療従事者としての倫理的な感受性と判断力を持って行動できる人
- ③ 口腔保健学への科学的探究心を持ち、臨床、研究および教育に意欲がある人
- ④ 専門性を高めたいという向上心とともに、口腔保健学の発展に貢献する意欲のある人

URL：<https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/advancedpolicy.html>

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開

URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/index.html

上記 URL 内「教育研究上の基礎知識」「組織図」参照

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
保育学科	—	4人	5人	2人	0人	0人	11人
養護保健学科	—	3人	3人	0人	0人	0人	6人
歯科衛生学科	—	7人	2人	2人	0人	3人	14人
医療秘書学科	—	1人	1人	2人	1人	0人	5人
専攻科 口腔保健学専攻	—	7人	2人	0人	0人	0人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		86人					86人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：関西女子短期大学 公式WEB サイト内 各学科ページ 教員紹介内に公開 (URL 参照) 保育学科： https://www.kwc.ac.jp/faculty/childcare/teacher.html 養護保健： https://www.kwc.ac.jp/faculty/health/teacher.html 歯科衛生： https://www.kwc.ac.jp/faculty/dental/teacher.html 医療秘書： https://www.kwc.ac.jp/faculty/medical/teacher.html 専攻科 口腔保健学専攻： https://www.kwc.ac.jp/faculty/adv_ohs/teacher.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では FD 委員会を設置し、IR・FD・アドミッション推進室と連携しながら、学内での FD 活動推進の中心的役割を果たしている。具体的な活動として、年 2 回の授業アンケートの実施及び結果の有効活用、公開授業・授業研究会実施、自己点検シートの作成等による授業技術向上のための取り組み、シラバス研究等の各種教員研修会の開催等が挙げられる。</p> <p>また、ティーチング・ポートフォリオを導入し、各教員が自分の教育活動の中で改善が必要な分野を自己省察できるような取り組みを設けている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	120人	57人	47.5%	240人	111人	46.3%	—人	—人
養護保健学科	40人	17人	42.5%	80人	28人	35.0%	—人	—人
歯科衛生学科	100人	81人	81.0%	300人	266人	88.7%	—人	—人
医療秘書学科	40人	29人	72.5%	80人	51人	63.8%	—人	—人
専攻科 口腔保健学専攻	5人	3人	60.0%	5人	3人	60.0%	—人	—人
合計	305人	187人	61.3%	705人	459人	65.1%	—人	—人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	77人 (100%)	0人 (0.0%)	73人 (94.8%)	4人 (5.2%)
養護保健学科	20人 (100%)	3人 (15.0%)	17人 (85.0%)	0人 (0.0%)
歯科衛生学科	86人 (100%)	2人 (2.3%)	75人 (87.2%)	9人 (10.5%)
医療秘書学科	20人 (100%)	0人 (0.0%)	20人 (100%)	0人 (0.0%)
専攻科 口腔保健学専攻	－人 (－%)	－人 (－%)	－人 (－%)	－人 (－%)
合計	203人 (100%)	5人 (2.5%)	185人 (91.1%)	13人 (6.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) (福)あけぼの会、(福)伊賀市社会事業協会、(福)大阪福祉事業財団、大和郡山市役所、橿原市役所、広陵町役場、藤井寺市役所、みなべ町役場、三宅町教育委員会、(医)サラヤ健育会 オーラルケアステーション本町歯科、(医)ラポール会 青山病院、(医)善心会 谷口歯科クリニック、(医)貴志会 藤村歯科クリニック、(医)はしもと歯科クリニック、(医)優社 せきやデンタルクリニック、(社医)垣谷会 明治橋病院、(医)医仁会 藤本病院、(社医)生長会 府中病院、(社医)警和会 大阪警察病院、(公財)天理よろづ相談所 天理よろづ相談所病院「憩の家」、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、奈良県教育委員会、紀の川市教育委員会、京都橘大学、関西女子短期大学 口腔保健学専攻				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
保育学科	81人 (100%)	77人 (95.1%)	0人 (0.0%)	4人 (4.9%)	0人 (0.0%)
養護保健学科	29人 (100%)	20人 (69.0%)	2人 (6.9%)	7人 (24.1%)	0人 (0.0%)
歯科衛生学科	91人 (100%)	83人 (91.2%)	2人 (2.2%)	6人 (6.6%)	0人 (0.0%)
医療秘書学科	23人 (100%)	20人 (87.0%)	1人 (4.3%)	2人 (8.7%)	0人 (0.0%)
専攻科 口腔保健学専攻	－人 (－%)	－人 (－%)	－人 (－%)	－人 (－%)	－人 (－%)
合計	224人 (100%)	200人 (89.3%)	5人 (2.2%)	19人 (8.5%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <p>シラバスの作成に関しては、例年、10月以降の教務委員会にて記載内容の検討を開始し、翌年1月各授業担当者に作成依頼を行い、2月上旬に各授業担当者から提出されている。</p> <p>具体的な内容は、①目的 ②概要 ③到達目標 ④授業計画 ⑤授業形態 ⑥教科書 ⑦参考書 ⑧評価方法 ⑨留意点 ⑩準備学習・関連学習で構成されている。記載内容を徹底するため、「シラバス作成・活用ガイド」を作成し担当教員あてに通知している。また、シラバス完成までに教務委員によるチェックを経て3月に公開している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価を行うにあたっては、筆記試験、口述試験、実技試験、レポート、その他の提出物など多様な方法を用いており、学則、規程で定めている。</p> <p>また、シラバスにおいて、成績評価の方法と基準を示し、これらに基づき客観的に厳正かつ適正な学修成果を判定し評価を行っている。</p> <p>成績の評価、単位の授与については、学則に定め、授業科目を履修し、試験に合格したものには単位を与えている。</p> <p>また、「夢ノート」というツールを使い、学生の履修指導、成績管理、生活指導を行っている。加えて個々人の遅刻、欠席状況をチェックすることで、学修意欲の把握に努め、3回欠席した場合は、保護者との情報共有をはかり、きめ細かい指導を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	62 単位	有・無	30 単位 (1年次のみ 25 単位)
	養護保健学科	62 単位	有・無	30 単位 (1年次のみ 25 単位)
	歯科衛生学科	97 単位	有・無	30 単位 (1年次のみ 25 単位)
	医療秘書学科	62 単位	有・無	30 単位 (1年次のみ 25 単位)
	専攻科 口腔保健学専攻	32 単位	有・無	
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る 参考情報 (任意記載事項)		公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL: https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/seisekihyoukaki_jun.html URL: https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/sotugyouuninteiki_jun.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスガイド URL : https://www.kwc.ac.jp/profile/campusmap.html ・図書館 URL : https://www.kwc.ac.jp/profile/library/librarytop.html ・その他の学習施設 URL : https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/jouhousyori.html ・障がい者支援 URL : https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/syougaisya.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育学科	830,000 円	300,000 円	252,600 円	・教育充実費 (200,000 円) ・履修費 (52,600 円)
	養護保健学科	830,000 円	300,000 円	259,200 円	・教育充実費 (200,000 円) ・履修費 (59,200 円)
	歯科衛生学科	830,000 円	300,000 円	295,800 円	・教育充実費 (250,000 円) ・履修費 (45,800 円)
	医療秘書学科	830,000 円	300,000 円	230,600 円	・教育充実費 (200,000 円) ・履修費 (30,600 円)
	専攻科 口腔保健学専攻	400,000 円	100,000 円	100,000 円	・教育充実費 (100,000 円)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学式後、2日間のオリエンテーションを実施し、学生の新たな修学環境への適応を支援している。また、履修指導においては、学科ごとにオリエンテーションを実施し、各自の時間割を指導教員に提出させるようにしている。特に、1年生については、履修以外にも講義の受け方、試験、成績評価、単位認定等、今後の修学に係るきめ細かい指導を行う。 学生が入学時の目標を持ち続け、学びの記録を残すため全学生を対象とした「夢ノート」という制度を設けている。教員は記述内容や出席状況から学生の現状を把握し、特に注意を要する学生の対応など有効に活用している。また、授業以外に相談できるオフィスアワーを設定するとともに、いつでも学生の要望に応じて個別指導を行っている。 情報関連による支援では、学内LAN上のファイルサーバに個人用のフォルダを所有できるようにし、いつでも学内コンピュータから個人フォルダにアクセスできる環境を整備し修学を支援している。
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学科毎の専門性を活かす進路の支援や啓発（学科別就職ガイダンス、ライフデザイン講座） 就職活動のスキルに対する支援（短大生のための就職セミナー、ビューティ・アップセミナー、就職支援講座） 就職情報収集と活用のための支援（求人検索ナビシステムの導入）
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生相談室の設置（月～金 10：00～17：00） 保健室の設置（月～金 8：50～17：00） 学生支援センター、学生相談室、保健室相互の連携（合同カンファレンスにて情報共有と対応の検討）

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開</p> <p>URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/kanjyoop.html</p> <p>URL：https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/chiikirenkei/regional_program.html</p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F227310108561
学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		104人	96人	200人
内 訳	第Ⅰ区分	65人	63人	
	第Ⅱ区分	25人	20人	
	第Ⅲ区分	14人	13人	
家計急変による支援対象者（年間）				2人
合計（年間）				202人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	—	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。